

JAMA NEWS

NO. 28

The Japanese Association of Management Accounting

日本管理会計学会 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学商学部 日本管理会計学会事務局

会長就任のご挨拶

早稲田大学 辻 正雄

日本管理会計学会会員の皆様へ会長としてご挨拶を申し上げます。栄誉を賜りましたことに対し、衷心より御礼申し上げます。前期に田中雅康会長および山田庫平理事長の下で副会長を務め、分不相応にも貴重な経験をさせて戴いたことを誠にありがたく思っております。お二方が崇高な理念をいだかれて学会の発展に尽力される傍らに身を置かせて戴いたおかげで、学会運営のお手本を学ぶこともできました。

会長選に推挙されましたときになぜかを自問自答するなかで、これは皆様の早稲田大学への期待の現われに他ならないことに気がつきました。顧みますに、早稲田大学は多数の会員を要しながら、それに相応しい貢献をしてきたとはいえないように思えました。とりわけ、理事長制が廃止され、事務局が変わらざるを得ないときに、他に類を見ないほど活発な活動を行っている学会の事務局を担える大学として皆様が早稲田大学に寄せられたご期待に、今こそお応えするべきであると覚悟を決した次第です。とは申しましても、浅学非才の身にとって会長と理事長を兼務するような重責を担っていく自信などありませんが、皆様のご指導ならびにご鞭撻を賜りながら、職務に精勤してまいる所存でございます。

2011年に創設20周年を迎える若い学会でありながら、諸先輩方のためめぬご努力により、本学会は約800名の会員数を擁する大規模な組織にまで成長しました。全国のいずれかで毎月のように活動が行われ、年に2号の学会誌が刊行され、時機に応じて英文誌をも発刊されるという事業内容は、まさに誇るに値するものと思います。このモメンタムは持続させねばならないと考えています。しかし、いくつかの課題にも取り組みたいと思います。関連する学会とのコラボレーションを推進し、会員の皆様により良き研究の場をご提供することをお約束いたします。学会に出席しますと、参加者がいわゆる常連の方々に限られているように感じられるときがあります。理事に選ばれる会員は、都市圏の大きな大学に偏っているようにも思います。全国に会員がおられ、公認会計士や実務家の方々が参画されている学会に相応しいあり方を模索しなければならないと考えております。学会活動に積極的に参加される会員の方々が増えていくような組織へと改革することが、取り組むべき重要な課題であると認識しております。より素晴らしい学会へと発展させるために、皆様からこれまでにも増してご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

新役員決定

▼ 副会長3名決定

2008年2月2日開催の「みなし理事会」での審議の結果、3名の副会長が選任されました（2ページ新役員一覧をご覧ください）。

▼ 常務理事15名決定

2008年2月2日開催の「みなし理事会」での常務理

事の選挙の結果、15名が常務理事に選任されました（2ページ新役員一覧をご覧ください）。

▼ 理事5名追加決定

2008年2月2日開催の「みなし理事会」での役員選任規程第6条(3)により選任される理事として、審議の結果、5名が選任されました（2ページ新役員一覧「理

事」※の印)。

結果、6名が選任されました(2ページ新役員一覧をご覧ください)。

▼ 参事6名決定

2008年4月19日開催の第1回常務理事会での審議の

新役員一覧

(敬称略, 任期: 2008.4.1~2011.3.31)

■ 会長

辻正雄 (早稲田大学)

■ 副会長

上埜進 (甲南大学)

小倉昇 (筑波大学)

原田昇 (東京理科大学)

■ 常務理事

青木茂男 (青山学院大学)

浅田孝幸 (大阪大学)

石崎忠司 (中央大学)

伊藤嘉博 (早稲田大学)

加登豊 (神戸大学)

片岡洋一 (目白大学)

菊井高昭 (上智大学)

昆誠一 (九州産業大学)

坂口博 (城西大学)

崎章浩 (明治大学)

佐藤紘光 (早稲田大学)

田中雅康 (東京理科大学名誉教授)

水野一郎 (関西大学)

溝口周二 (横浜国立大学)

宮本寛爾 (大阪学院大学)

三代澤経人 (立命館大学)

門田安弘 (目白大学)

横山和夫 (東京理科大学)

山田庫平 (明治大学)

■ 理事

青木雅明 (東北大学)

李健泳 (新潟大学)

伊藤和憲 (専修大学)

井岡大度 (国士館大学)

大下丈平 (九州大学) ※

大島正克 (亜細亜大学)

笠井賢治 (亜細亜大学)

上總康行 (福井県立大学)

河合久 (中央大学)

古賀勉 (福岡大学) ※

小菅正伸 (関西学院大学)

小林啓孝 (早稲田大学)

澤邊紀生 (京都大学)

清水孝 (早稲田大学) ※

園田智昭 (慶應義塾大学) ※

竹森一正 (中部大学) ※

長屋信義 (産能大学)

成田 博 (高千穂大学)

西村優子 (青山学院大学)

長谷川恵一 (早稲田大学)

長谷川泰隆 (麗澤大学)

浜田和樹 (関西学院大学)

廣本敏郎 (一橋大学)

山下裕企 (東京理科大学)

山本正彦 (愛知東邦大学)

吉岡正道 (東京理科大学)

吉村 聡 (流通経済大学)

■ 監事

紺野剛 (中央大学)

高橋史安 (日本大学)

廣瀬哲夫 (日本公認会計士協会)

■ 参事

海老原崇 (武蔵大学)

大鹿智基 (早稲田大学)

大槻晴海 (明治大学)

櫻井康弘 (高千穂大学)

鈴木孝則 (早稲田大学)

堀井悟志 (立命館大学)

役員業務分担

業務内容	執行部担当者	メンバー (○は責任者)
総務(予算・決算・会則等)	社会長	○崎常務理事, 石崎・菊井・田中・山田常務理事, 清水・長谷川(恵)・吉岡理事
会員・寄付・募金		○横山常務理事, 片岡・田中・山田常務理事, 上總理事
広報 (ニュース, HP 等)		○溝口常務理事, 伊藤・河合・成田理事
フォーラム	上埜副会長	○青木常務理事, 水野常務理事, 青木・大下・浜田理事
地方部会		○三代澤常務理事, 昆・宮本常務理事, 青木・大下・竹森・山本理事

企業研究・工場見学	小倉副会長	○伊藤常務理事, 坂口常務理事, 李・古賀・小菅・竹森・成田・長谷川(泰)・吉村理事
リサーチセミナー		○浅田常務理事, 伊藤常務理事, 井岡・笠井・西村理事
実務家交流	原田副会長	○田中常務理事, 石崎常務理事, 大島・園田・山下理事
学会誌		○佐藤常務理事, 浅田・小林・溝口・門田常務理事, 青木・長屋理事
学会賞		○原田副会長, 上埜副会長, 浅田・佐藤・田中常務理事, 廣本理事
内外学会コラボレーション	辻会長, 上埜・ 原田副会長	○加登常務理事, 青木・石崎・水野常務理事, 大下・澤邊理事
創設記念事業	全 員	○伊藤常務理事, 溝口・門田常務理事, 浜田理事
企業調査研究プロジェクト	全 員	○片岡常務理事

各種業務計画

総務担当

明治大学 崎章浩

この4月より「総務担当」の責任者になりました明治大学の崎章浩でございます。業務内容は「予算, 決算, 会則等」であり, 辻会長と相談しながら, 業務を遂行していきたいと考えております。これまで6年間予算および決算の業務に携わってきましたが, 会費の納入率はあまりよくありませんでした。そこで, 納入率の向上を当面の目標と考え, 今年度より決算書の備考欄等に納入状況を開示し, 会員の皆様にその実態を認識していただくことから始めたいと思います。ご協力のほど, よろしくお願いいたします。

会員・寄付・募金担当

東京理科大学 横山和夫

- [会員] 会員の増加を図るため, 各会員に関係者の紹介等を依頼する。
- [寄付] 企業からの寄付または賛助会員への加入を働きかけるため, 各会員からの企業紹介を依頼する。
- [基金] 記念事業への基金について, 記念事業担当理事と協議し, 具体的な方策を検討する。

広報担当

横浜国立大学 溝口周二

これまで管理会計学会はJAMAニュースという紙媒体を通じて, 会員相互間の研究・教育に関する情報交換を始めとし, 大会や部会の情報についても会員に迅速に周知することに努めてきた。しかし, 紙媒体の制約から会員に時宜を得た情報提供が難しく, また編集, 校正, 発送に関連する一連の業務に関する負荷は, 会員数の増加に伴い次第に大きくなる傾向がある。こうした状況を鑑みて, 広報委員会での話し合いにより, 以下のような事業計画と検討事項を2点抽出した。

■ 事業計画

HPは学会の顔でもあり, インパクトがあるHPデザインのリニューアルを計画している。これは今後の展開も含めて専門家に依頼し, 適切なコンテンツと見やすいHPを計画している。

■ 検討事項

このようなHPを充実すれば, HP自体がニュース発信媒体となり, 時宜を得た情報が迅速に会員間で共有できるようになる。電子メールよりも直接的で, どの世代の会員にも, どの場所からでもアクセス可能なHPのデザインやコンテンツを見直して, JAMAニュースに代替させることも検討課題と考えている。

フォーラム担当

青山学院大学 青木茂男

2008年度のフォーラムは次の通りです。

- 第1回2008年6月28日(土)：青山学院大学で開催しました。関東以外の地域からも多くの参加者を迎えて盛況でした。
- 第2回2008年12月13日(土)：南山大学(齋藤幸一準備委員長)
- 第3回2008年2月28日(土)：関西大学(水野一郎準備委員長)

フォーラムは年3回開催することになっており、外部からの特別講演や若手研究者の研究報告などが中心になっております。学会を活性化する上で重要な役割を果たしております。どうぞ積極的な報告と多数の参加をお願いします。

企業研究・工場見学担当

早稲田大学 伊藤嘉博

日本管理会計学会では、これまでフォーラムの開催にあわせて「企業研究・工場見学」を実施してきました。ただ、本年度に限っていえば、今後確定しているフォーラムがいずれも関西圏で予定されていることから、これと切り離して企業研究・工場見学を関東で実施することも現在検討中です。残念ながら、未だ詳細は固まっておりますが、できるだけ早く、皆様にご報告できるよう努めてまいります。

実務家交流担当

東京理科大学名誉教授 田中雅康

当面は考えているよりも歩み出すことが先決だと考え、次のようなことを実施しようと計画しています。

■ [計画1]

全国大会ではテーマセッション(仮称)などの名前で、特定テーマについて企業の事例発表を2~3件行い、これに基づく学者と実務家で討議をして、当該テーマについて理解を深めると共に実務家へのアドバイスをを行う。

今年度は「原価企画と開発購買」をテーマとし、この分野の先進企業例(川崎重工業と松下電産)を発表してもらいます。

■ [計画2]

年に1~2回、公開講座またはセミナーを10月頃東

京で開催(安い参加費で、土曜日をねらって)したいと考えています。場所は未定ながらも早稲田大学(会長校)を主に考えています。

この運営やテーマ等については本年度全国大会のときに、担当理事の先生方と相談して決定します。

学会誌担当

早稲田大学 佐藤絃光

新体制の発足に伴い、学会誌編集委員長の大役を原田昇先生から引継ぎました。何分にも不慣れなため、ご迷惑をおかけすることが多いと存じますが、皆様の研究活動により一層貢献する学会誌になるよう微力を尽くす所存です。よろしくご協力いただきますようお願い申し上げます。従来どおり2回の発刊を予定しております。奮って投稿いただきますようご案内申し上げます。

投稿先：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学社会科学総合学院内
日本管理会計学会 学会誌編集委員長 佐藤絃光
E-mail : hiromitu@waseda.jp

学会賞担当

東京理科大学 原田昇

■ 学会賞の種類

- (1) 特別賞：管理会計学又は隣接諸科学の理論若しくは応用について特に優れた研究業績や教育業績があるか、本学会の運営に特に顕著な功績があると認められた者
- (2) 功績賞：本学会の大会及び研究会等での報告や執筆又は学会活動に顕著な貢献があると認められる者
- (3) 論文賞：管理会計学又は隣接諸科学の理論若しくは応用の発展に貢献するところが顕著であると認められる論文の執筆者
- (4) 文献賞：管理会計学又は隣接諸科学の理論若しくは応用の発展に貢献するところが顕著であると認められる論文以外の著書等の著者
- (5) 奨励賞：若手研究者の研究を奨励するため、管理会計学又は隣接諸科学の理論若しくは応用について内外の研究誌等に掲載された論文等の執筆者

■ 事業計画

上記の学会賞に適合した学会員を公正かつ透明に選定し、来る全国大会の総会で承認を受け表彰する。

■ 検討事項

実務家への学会賞の受賞者を積極的に選定するために、功績賞を2つに分類することが望ましい。

創設記念事業担当

早稲田大学 伊藤嘉博

日本管理会計学会は、2011年7月で創設20周年を迎えます。これを記念して20年の節目となる事業を計画したいと考えております。とはいえ、現在のところ、具体的なイベントや活動計画ははまだ白紙の状態です。そこで、会員の皆様からも広くアイデアを募り、有意義な企画を打ち出したいと思っております。ぜひ、ご意見・ご要望を事務局までお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

学会業務日誌

2008年4月19日(土)

▼常務理事会開催(早稲田大学早稲田キャンパス)

- ◆ 参事6名が推薦され承認されました。
- ◆ 2008年度学会事業計画(案)が承認されました。

研究活動について:

- 全国大会 年1回開催(甲南大学)
- フォーラム 年3回開催
- 企業研究会・工場見学 2回開催
- リサーチセミナー 3回開催
- 地区部会: 関西・中部部会, 九州部会
- 学会誌『管理会計学』年2回刊行, 電子化, 投稿機会の拡大
- 学会賞の授与
- 内外学会とのコラボレーションの推進

広報・会員サービスについて:

- 学会ホームページの充実
- JAMA ニュースの年2回刊行

その他:

- 創設20周年記念事業の検討
- 会員数の増大と財政基盤の拡充
- 会則改定の検討
- 企業調査研究プロジェクトの研究成果の刊行

- ◆ 常務理事および理事の業務分担(案)が承認されました(詳細につきましては2ページをご覧ください)。
- ◆ 新入会員12名, 退会者4名が承認されました。
- ◆ 企業調査研究プロジェクトの研究成果刊行物について次のとおり報告されました。

○ シリーズNo.6 情報システム専門委員会(溝口周二委員長)『情報化戦略の進化とコスト・マネジメント』(2月刊行)

- ◆ 2008年4月19日現在, 正会員は688名, 準会員は88名, 賛助会員は4社, 合計会員数は780会員であることが報告されました。

2008年6月28日(土)

▼常務理事会開催(青山学院大学青山キャンパス)

- ◆ 2007年度事収支決算(案)が承認されました。
- ◆ 2008年度収支予算(案)が承認されました。
- ◆ 特別賞, 功績賞の受賞者が決定されました。
- ◆ 新入会員7名, 再入会1名, 退会者1名が承認されました。
- ◆ 企業調査研究プロジェクトの研究成果刊行物について次のとおり報告されました。

○ シリーズNo.7 サプライチェーンマネジメント専門委員会(矢澤秀雄委員長)『サプライチェーンマネジメントと目標管理』(近日刊行予定)

○ シリーズNo.8 国際管理会計専門委員会(宮本寛爾委員長)『実態調査からみた国際管理会計』(近日刊行予定)

- ◆ 2008年度全国大会(甲南大学)の準備が順調に進んでいることが報告されました。なお, 非会員の大学院生の大会参加費が準会員と同額とすることが報告されました(詳細は学会ホームページをご覧ください)。
- ◆ 2008年6月28日現在, 正会員は692名, 準会員は92名, 賛助会員は4社, 合計会員数は788会員で

あることが報告されました。

新入会員の紹介

- 正会員(敬称略)
9名入会
- 準会員(敬称略)
10名入会

6月28日現在

ホームページURL (アドレス) 変更のお知らせ

広報担当

これまでの(株)中央経済社によるホームページ・サービス(学会ネット)が終了することをうけて、(株)大塚商会のホスティングサービスを利用し、学会自主管理による運用に移行致しました。

当面、従来のコンテンツを使用して参りますので、これまでと同様のイメージで閲覧が可能ですが、(株)中央経済社のサービス機能であった「ウェブマガジン」、「電子会議室」、「会員データベース」など実質的に利用されていなかったものはメニュー項目から削除致しました。

また、この移行に伴いURLが下のように変更になります。

今後、コンテンツやデザインを一新すべく検討を進めて参りますので、会員の皆様にはご助言、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

新しいURL

<http://www.sitejama.org/>

日本管理会計学会広報 責任者 : 溝口周二

メンバー : 伊藤和憲 河合久 成田博 櫻井康弘

発行機関 : 日本管理会計学会

《本部事務局》 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学商学部 日本管理会計学会事務局

E-mail : jama-info@list.waseda.jp

《学会公式ホームページ》

<http://www.sitejama.org/>